

第六十七回 帝國議會 臨時利得稅法案兩院協議會議事速記録第一號

昭和十年三月二十四日(日曜日)午前十時
十九分開會

貴族院協議委員

- 議長 侯爵中御門經恭君
副議長 伯爵酒井 忠正君
子爵渡邊 千冬君
男爵黑田 長和君
桑山 鐵男君
男爵深尾隆太郎君

衆議院協議委員

- 議長 前田 米藏君
副議長 熊谷 直太君
中島知久平君
山崎 猛君
堀切善兵衛君
太田 正孝君
加藤久米四郎君
岡田 忠彦君
金光 庸夫君
松野 鶴平君

(抽籤ニ依リ 侯爵中御門經恭君議長席ニ著ク)

○議長(侯爵中御門經恭君) ソレデハ是ヨリ臨時利得稅法ノ兩院協議會ヲ開キマス、先ヅ貴族院ノ再修正ニ付キマシテノ點ヲ、御説明ヲ願ヒマス

○子爵渡邊千冬君 ソレデハ私カラ貴族院ノ再修正ヲ致シマシタ點ト、其理由ヲ申上ゲテ見タイト存ジマス、政府原案ニ對シテ衆議院デ修正セラレマシタ點ハ、五點アルコトト了解イタシテ居ルノデアリマス、第一ハ基準年度デアリマス、是ハ政府原案ニ

ハ昭和五年、六年ノ兩年度ヲ基準年度ト致シテアリマスノヲ、衆議院ニ於テハ昭和四年ヲ加ヘテ、此三箇年ヲ基準年度トシテ、其平均利益ヲ計算ノ基礎ト致シテアルヤウニ存ジマス、第二ハ課稅ノ稅率ノ點デアリマシテ、政府原案ニハ法人、個人トモ百分ノ十ト

ナツテ居リマスノヲ、衆議院ノ御修正デハ、個人ノ場合ハ之ヲ百分ノ七・五トナツテ居ルノデアリマス、第三ハ政府原案ニハ無イノデアリマスケレドモ、臨時利得稅ヲ遁脫スル目的ヲ以テ増資シタ場合ハ、此政府原案ニ依リマス所ノ特典ト申シマスカ緩和ト申

シマスカノ利益ヲ與ヘズシテ、總テ之ヲ基準年度ニ於ケル利益ヲ百分ノ七ト計算ラスルト云フ御修正デアリマス、第四ハ減資ノ場合ノ規定デアリマシテ、是ハ善良ノ意思ヲ以テ減資ヲ致シタ場合ニ、政府原案デハ是等ノ會社ニ氣ノ毒デアルト云フ譯デ、減資無カリシモノト看做スト云フ、サウ云フ御修正デアリマス、第五ハ此臨時利得稅ノ施行期間ヲ、政府原案ニ依リマスト其解釋上當分ノ中トアリマスノヲ、衆議院ノ御修正ニ依リマシテ三箇年ト規定ヲ致ス、此五點ガ衆議院修正ノ箇條デアアルヤウニ了解イタシテ居ルノデアリマス、此修正案ヲ原案ト致シマシテ、貴族院ノ特別委員會ニ於テ審議ヲ致シタノデアリマスケレドモ、其審議ヲ致シマス際ノ各特別委員ノ考ヲ此際申上ゲマスコトハ無益デナイト存ジマスカラ、一言申添ヘテ置キタイト存ジマス、衆議院ニ於テモ斯ウ云フヤウナ修正ヲセラレタノデアリマスカラ、此案ノ成立ヲ希望シテ居ラレルト云フコトハ固ヨリノコトト了解ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ、貴族院ノ特別委員會ニ於キマシテモ其考ヲ皆持ッテ居ッタノデアリマスガ、ソレト同時ニ貴

族院ニ於キマシテハ歳入豫算ト云フモノヲモウ議決シテ居リマス關係モアリマスノデ、歳入ノ減ラナイ程度デ、出來得ルダケ衆議院ノ院議ヲ尊重イタシテ此案ノ成立ヲ圖リタイ、是ハ各議員ノ最モ熱心ナル希望デアッタノデアリマス、此點ハ左様ニ御了解ヲ願ッテ置キタイト存ジマス、サウシテ特別委員會竝ニ本會議ニ於キマシテ決定イタシマシタ結果ハドウナツテ居ルカト申シマス、右申述ベマシタ衆議院ノ修正五箇條ノ中、三箇條ハ御同意ヲ致シテ其通りニ決定ヲ致シタノデアリマス、ソレハ稅率ノ點ガ一ツ、次ニ減資ノ場合ノ規定、次ハ施行期間ノ規定デアリマス、ソレカラ外ニ二箇條ダケハ、詰リ基準年度ノ點ト、ソレカラ増資ノ場合ノ規定ト云フモノハ、是ハ原案ニ復活スルコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ尙ホ其外ニ一點ダケ政府原案ニ對シテ新ニ修正ヲ加ヘタノデアリマス、是等ノ點ノ中、衆議院ノ修正案ニ貴族院ガ御同意ヲ致シマシタ點ハ申上ゲル必要ガナイト存ジマスカラ、其點ヲ省キマシテ、他ノ三點ニ付テ貴族院ノ修正ノ理由ヲ申上ゲテ見タイト存ジマス、第

一

一

一

一

一

一ハ基準年度ノ點デアリマスケレドモ、衆議院ノ之ヲ三年ト御修正ニナリマシタ理由ハ、經濟界ノ最モ不況デアル所ノ昭和五年、六年ノ二年ノ平均利益ヲ基礎ト致スコトハ餘リニ苛酷デハナイカ、之ニ四年度ヲ加ヘテ苛酷ノ點ヲ緩和シ、多少平常ノ狀態ガソコニ加ツテ來ルヤウニ致シタ方ガ宜クハナイカト云フ理由デ、御修正ニナッタモノト了解イタシテ居リマス、私ノ申シマシタ衆議院ノ方ノ修正ノ理由ハ、若シ間違ッテ居リマシタナラバ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ニ對シマシテ貴族院ニ於キマシテハ、是ハ矢張り二年ト致シタ方ガ宜シイト云フコトニナツタノデアリマス、其理由ハ斯カル臨時ノ稅ヲ課シマス場合、殊ニ利得稅ヲ課シマス場合ハ、二ツノ全ク異ツタ所ノ經濟界ノ情況ヲ比較スルト云フコトガ根本的ノ趣旨デナケレバナラス、ソレニハ昭和五年、六年ハ共ニ金解禁時代デアリマシテ、昭和四年トハ全ク經濟界ノ情況ガ違ッテ居ルノデアリマスカラ、其五年、六年度ト云フモノニ昭和四年度ヲ加ヘルコトハ、基準年度トシテハ面白クナイ、又理論上如何ナモノデアラウカト云フコトヲ考ヘマシテ、是ガ一ツノ理由デ昭和五年、六年ヲ基準年度ニ致シタイト考ヘタノデアリマス、尙又

實際問題ノ方面カラ、其一ツノ理由トシテ我々ノ考ヘマシタコトハ、昭和五年、六年度ノ金解禁時代以來今日マデ、世間ニハ尙ホ不況ノ狀態ヲ繼續シテ居ルノガ非常ニ多イ、ノミナラズ又昭和五年、六年度ヨリモ一層不況ノ狀態ニ陥ッテ居ルモノモ非常ニ多イノデアアルノニ、其間ニ利得ヲ得テ時局ノ影響ヲ受ケテ獨リ利得ヲシテ居ル、斯ウ云フ法人又ハ個人ノ營業上ノ利得ニ對シマシテ課稅スルト云フコトハ當然ナコトデアッテ、決シテ無理ナコトデハナイ、斯ウ云フヤウニ致シタ方ガ理論ガ一貫シテ居ル、尙又政府原案ニハ各種ノ緩和規定ト云フモノガアルノデアリマスカラシテ、基準年度ハ二年ト致シタ方ガ宜シイ、斯ウ云フ考デアリマス、又之ヲ三年ト致シマス、右申シタ理由ノ外ニ色々官民共ニ手續上ノ煩瑣ヲ加ヘルト云フヤウナコトモ考ヘタノデアリマス、以上ノ各種ノ理由ヲ考慮イタシマシテ、是ハ遺憾ナガラ衆議院ノ御修正トハ違ッタ結論ニ到著イタシタノデアリマス、次ニ増資ノ場合ノ規定デアリマスケレドモ、是ハ本院通脱ノ目的ヲ以テト云フコトガ衆議院ノ修正案ニハアルノデアリマステレドモ、斯カル事實ノ認定ヲ政府ニ一任スルト云フコトハ、運用上ナカク困難ナ場

合ガ少クナイノデアラウ、又其爲ニ是ハ認定デアリマスカラ、認定ノ相違ヨリシテ官民ノ間ニ各種ノ爭議ナドガ起ルコトガアリハシナイカト云フコトヲ非常ニ慮レタノデアリマス、又從來ノ例ニ依リマシテモ、所得稅法中ノ超過所得稅ニ付キマシテモ、戰時利得稅ニ付キマシテモ、同様ナコトハ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、今日マデ是等ノ規定ガナクテモ、サシタル弊害モナカッタト云フコトモ承ツテ居ル、此規定ハ矢張り遺憾ナガラ衆議院ノ修正ニ御同意ヲ致シ兼ネテ、原案ニ復活イタシタイト云フ結論ニ到著イタシタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ貴族院デ新シク修正ヲ致シマシタノハ、原案ニアリマス所ノ、法人、個人共ニ二千圓ヲ控除シタモノヲ以テ利得金額トシテ之ニ課稅スルト云フコトニナツテ居リマスノヲ、法人ニ付テハ此二千圓ノ控除ヲ廢スル、斯ウ云フコトニ致シタイト云フ修正ヲ致シタノデアリマス、其理由ヲ播摘ンデ申上ゲマスト、二千圓ノ控除ヲ致スト云フコトヲ、法人ト個人トノ間ニ差別ヲ置イテ考ヘルト云フコトハ、純理ノ上カラ言ヘバサウ云フ必要ハナイト云フ論モアルカモ知レナイノデアリマスケレドモ、我國ノ立法例ニ於キマシテハ、稅法ニ於テ今日マ

デ、左様ナ法人ニ控除ヲ致スト云フコトハ、全ク認メテナカッタノデアリマス、所得稅法ニ於キマシテモ御承知ノ通り、個人ニ於テハ千二百圓以下ニハ課稅ハシナイ、勤勞所得ニ對スル場合トカ、扶養スル者ノアル場合トカ、保險料ノ場合等ニモ控除ノ規定ガアルノデアリマスガ、法人ニハ斯ウ云フコトガナイ、營業收益稅法ニ於キマシテモ、個人ハ四百圓以下ニハ課稅シナイト云フコトニナツテ居ル、戰時利得稅ニ於キマシテモ、個人ノ場合ハ三千圓以下ノ利得ニハ課稅シナイト云フコトニナツテ居リマスガ、法人ニハサウ云フコトハナイ、此際今迄ノ稅法ニ於ケル先例ヲ破ッテ、法人ニ此控除規定ト云フコトヲ設ケルコトハ、ドウモサウ云フ必要ハアルマイ、是ガ一ツノ考デアリマス、ソレカラ尙ホ政府ノ説明ニ依リマスト、此控除ヲ廢止イタシマスト云フト、新ニ課稅セラレル法人ノ數ガ一萬五千バカリ増加イタスト云フコトデアリマスガ、一萬五千ノ法人ガ新ニ課稅セラレルト云フコトハ、チヨットソレダケ聞キマスト云フト、非常ニ此稅ヲ負擔スル者ノ數ガ多クナツテ來ルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、我々ノ考ト致シマシテハ、此一萬五千ヲ、控除スル場合ニ課稅サレル所ノ法人ノ數五千ト加ヘ

テ二萬ノ法人デ、此控除ヲ法人ニハ致サナイト云フ爲ニ政府ノ增收トナル所ノ百五十萬圓バカリヲ平均イタシテ見マスト云フト、一ツノ法人ノ負擔額ト云フモノハ七十五圓弱ニ大體ナルノデアリマス、利得ニ對シテ七十五圓弱位ナ負擔ヲサシテモ餘リ苛酷ナコトデアアルマイ、斯ウ云フコトモ考ヘタノデアリマス、尙又、是ハ申ス迄モナク利益ニ課稅スルモノデナクシテ、基準年度ト該事業年度トノ差ニ課稅スルモノデアリマスカラ、此七十五圓ヲ新ニ負擔スル者モ之ヲ弱小會社ト云フ譯ニハ行カナイノデアリマシテ、此中ニハ有力ナ法人ガ澤山入ッテ居ルモノト見ナケレバナラヌト存ジマシテ、一萬五千ハ増加イタシマシテモ、決シテ是ハ苛酷ナ課稅ヲ致スモノデハナイ、斯ウ云フコトヲ考ヘマシテ政府原案ヲ修正イタシタノデアリマス、貴族院ニ於キマシテハ先ニ申シマシタ通り、成ルベク歳入ニ影響ヲ及ボサナイヤウニ、此法案ヲ取扱ヒタイト云フコトヲ考ヘテ審議ヲ致シタノデアリマスケレドモ、以上申述ベマシタ所ニ依リマスト云フト、此法人ノ控除ヲ致サナイ爲ニ百五十萬圓バカリノ政府ノ增收ニナルサウデアリマシガ、ソレト同時ニ減資ノ場合ノ規定ヲ加ヘマシタ爲ニ、十

四五萬圓ノ減收ガ參リマシテ丁度百三十四五萬圓、百三十萬圓前後ノ增收ニナルノデアリマシガ、是ガ衆議院ニ於テ個人ノ課稅利率ヲ百分ノ七・五ト改正サレ、貴族院モソレニ御同意ヲ致シタノデアリマシガ、ソレニ依テ生ズル所ノ政府歳入ノ減少ガ約百三十五萬圓ニ丁度當テ居リマシテ、此貴族院ノ修正ニ依リマスレバ、政府ノ歳入ハ減少シナイ、サウ云フコトニナルコトモ是ハ引括メテノ話デアリマスケレドモ、是等ノ修正案ガ適當デハナイカト云フコトヲ考ヘマシタ次第デアリマス、以上ガ貴族院ノ再修正ヲ致シマシタ理由ノ大體デゴザイマス

○岡田忠彦君 私ハ此事案ノ委員ヲ致シテ居リマシタ關係上、先ヅ私ヨリ御尋イタシタイト思ヒマス、貴族院ノ本會議ニ於ケル委員長ノ御説明、又委員會ノ速記録、ソレカラ只今ノ御説明ニ依リマシテ、衆議院ノ修正點ニ付キマシテ非常ニ御親切ナ御研究ヲ戴キマシテ、其或點ニ付テハ御同意ヲ得テ居ルト云フコトデアリマシテ、誠ニ其御取扱ニ付キマシテハ深く感謝スル所デアリマスガ、唯此修正ニ付キマシテハ、何レ速記録等デ御承知ノ通り、随分細イ綿密ナ討議ヲ致シマシタ、其中ニハ或ハ御説ノヤウニ

多少ノ氣配ハアリマシタデスガ、現ハレタノハ七月ノ聲明デアツテ、之ガ原因デアアル、同時ニ又七月ヲ假ニ起リト致シマシテモ、法人ニ實際ニ影響ヲ及ボサレタル四年度ト云フモノハ、五年ノ三月迄ガ一ツノ期限トナツテ居リマシカ、現在四年ニ於テモ、是ハ實際上影響ヲ受ケテ居ル年ダラウト斯ウ思フノデス、略ボ十箇月ニ近イ間ト云フモノハ、四年度ト云フモノノ間ニハ、既ニ其原因ノミナラズ結果モ現ハレテ居ル、斯様ニ思ヒマスガ、尙ホ本稅ハ所謂二重課稅ト言ヒマスガ、既ニ超過利得等ヲカケテアル上ニ別ニカケルヤウナ意味ニナツテ居リマスカラ、矢張りソコニ多少ノ餘裕ヲ取ルト云フコトガ、常識ト言ヒマセウカ、ソレガ穩當デハナイカ、斯様ナ考ヲ持ツテ居ル、ソレデ外國ノ立法令ヲ調べタノデアリマシガ、申ス迄モナク「アメリカ」トカ「フランス」トカ「デンマーク」ナドノ大國ハ、之ヲ三年平均ニシテ居ラレルヤウデアリマス、イギリスハ三年ノ中二年ヲ何レデモ宜イカラ納稅者ノ便宜ノ宜イヤウニ選擇スルヤウニナツテ居リマス、又「ドイツ」、「オーストリー」ノヤウナ國ハ、五年ノ中最高最低ヲ除イタ三年ト云フコトニ致シテ居ル、是ハ矢張り斯ウ云フ臨時利得稅ニ對スル、殊ニ

又二重課税のノモノニ對スル、餘程用意ヲ加ヘタルモノデアラウカト我々委員ハ考ヘテ居ルヲデアリマシテ、殊ニ又統計上ニ於キマシテモ、英米ノ統計其他世界的ノ統計ハ何レモ三年ト云フモノヲ基準トシテヤツテ居ルヤウデアアル、四年ハ既ニ變動ノ時期ニ入ツテ居ルト見ルコトガ穩當デハナイカ、マア色ミノ意味ヲ以チマシテ、是ハドウアツテモ四年ヲ加ヘルコトガ正當デアアル、デ、政府モ亦其時ノ話デハ、是ハ速記ニハ載ツテ居リマセヌケレドモ、ソレハ實ハ御尤デアルト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマシタ石渡君ガ……、ソコデ斯ウ云フ點ニ付テ固ヨリ御考究アツタコトト思ヒマスガ、速記録ノ上ニハ現レテ居リマセヌヤウデアリマスガ、其邊ノ御考ハ如何ナモノデアリマセウカ、マダ他ニモアリマスガ、一應之ニ付テ御教フ請ヒタイ

○子爵渡邊千冬君 貴族院ノ修正ノ理由ハ大體只今申上ゲタヤウナ譯デアリマスガ、貴族院デハ小委員ヲ選ビマシテ、速記ニ載セズシテ、懇談的ニ隨分熟議ヲ致シタノデアリマスカラシテ、速記録ニ載ツテ居ラナクテモ、我々ガ斯ウ云フ結論ニ達スル迄ノ色ノ考慮ノ點ハ載ツテ居ラナイコトモアルダラウト存ジマス、從テ色ミノ御不審ノ點ニ付キマシテハ小委員ニナラレタ……貴族院ノ方ノソレニナラレタ方カラ御説明申上ゲタ方ガ便利ナコトガ多イダラウト思ヒマスカラ、各種ノ御質問ニ對シテハサウ云フコトニ御願ヲ致シタイト思ヒマス、只今ノ點ニ付キマシテ唯一二點私ノ理由トシテ、貴族院ノ特別委員會ニ於テ考慮サレマシタノハ、只今岡田君ノ御話ニナリマシタヤウナコトモ承ツタノデアリマスケレドモ、政府ノ説明ニモアリマスル通り、臨時ニ利得税ヲカケルノデアリマスカラ、ソレニ餘リ隔リナイ時ノ基準年度ヲ設ケルコトガ宜カラウト云フコトデ五年六年ト致シマシタ、之ニ四年ヲ加ヘルト云フコトニナリマス、尤モ考ヘヤウ次第デアリマスケレドモ、三年モ加ヘタ方ガ宜カラウ、四年モ加ヘタ方ガ宜カラウト云フヤウナ論モ出テ來ル虞ガアル、先ヅ斯ウ云フ特別ノ經濟界ノ状態ガ開始ニナツタノハ昭和五年ノ四月デアリマスルカラ、ソレカラ後ノ二年間ヲ基準年度トスルノガ宜カラウト云フノガ、私ノ特別委員會ニ於キマシテ承ツタ理由デアリマス、尙ホ私ノ申上ゲルコトデ足リナイ點ハ、貴族院ノ小委員ニナラレタ方ミカラ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○馬場鎮一君 只今ノ點ハ渡邊子爵カラ申サレタ通りデアリマスガ、尙ホ二年ニシマシタコトノ一ツノ理由ハ、矢張り之ニ依ツテ歳入ガ百十萬圓餘リノ減少ヲ來スト云フコトヲ避クルコトモ一ツノ理由ナンデアリマス、モウ一ツ尙ホ幾ラ補足的ノ意味ニナリマスガ、今回ノ臨時利得税ヲ課税イタシマスノハ、恰モ昭和五年ノ「デイフレーション」、昭和七年以後ノ「インフレーション」ト申シマスカ、サウ云フヤウナ關係カラ起ツテ來タ大體ノ財界變動、經濟界ノ好調ト云フコトニ基キマシテ利得ノ生ジタト見テ宜イノデハナイカ、サウ致シマスレバ昭和五年、六年ヲ探ルコト決シテ不都合デナイノデゴザイマス、左様ニシマスレバ茲ニ歳入ノ百十萬圓ノ缺陷ヲ生ズルコトヲ避ケ得ル結果ニナリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡田忠彦君 一應伺ツテ置キマス、唯收入ノコトハ後デ固メテドナタカニ御尋シヤウト思ツテ居リマスカラ、ソレハ其儘ニシテ置キマシテ其次……ソレデヤチヨット太田君カラ御話ガアルサウデスカラ暫ク譲リマス

○太田正孝君 全ク違ツタ時ト比較スルト云フ意味ニ於テ渡邊子爵ノ御話ヲ承リマシタ、又馬場サンノ御話ヲ承リマシタガ、詰リ理窟デ言ヘバ、結果ヲ捉ヘテ行クカ、原因デ行クカト云フコトニナリマシテ、今岡田君ガ、私共ノ方デ言ハレタノハ、金解禁ノ始ツタ時カラモウ原因ガアルノダ、結果カラ現ハレタ方カラ言フト、又クッキリ現ハレタノハ馬場サンノ今言ハレタ五、六年ニアルカト思ヒマス、ケレドモ、理論的ニ結果ヲ言ヘバ矢張り七年モカカルカト思ヒマス、更ニ個人ト法人ノ關係カラ申シマシテモ、課税ノ關係ニ於キマシテ茲ニ年度ノ喰ヒ違ヒガ生ジテ來ルト思ヒマス、私共ノ考デハマア肚ノ中ヲ申シマスト云フト、少シ強過ギハシナイカト云フノガ根本ノ觀念デアリマス、ソレデ渡邊子爵ノ第二點ニ舉ゲラレタ緩和點ガアルカラト云フ意味ニ於テ、マア四年ヲ御消シニナツタト云フコトガアリマシタガ、貴族院ノ方デ再修正ナサレマシタ、此後デ岡田サンカラ聽ク問題ニナツテ居ル二千圓控除ト云フ問題ハ、却テ緩和デナク強クナツテ居ルヤウニ思ハレル、又手續上ノ煩瑣ト云フコトモ第三點ニ御舉ゲニナツタヤウニ思ヒマスガ、ドウモ是ハ手續上ノ煩瑣ヨリモ、モット課税サレル者ニ對スル立場ヲ考ヘナケレバナラスト云フノガ、私共ノ考ヘ方デゴザイマス、ソレダケヲ岡田サン

ノ御話ニ補足シテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○岡田忠彦君 續イテ御尋イタシマス、今

度ハ法人ノ二千圓控除ノコトデアリマスガ、是モ私共ノ方デハ矢張り確カ二日モ掛ツテ随分熱烈ニ議論ヲ闘ハシタノデスガ、而モ是ハ一種ノ社會問題デアリマスカラシテ、論議ヲシテモ成ルベク世間ニ漏レナイヤウニシヤウヂヤナイカト云フ申合モシテ、漏レナカッタノデス我ノ扱テ居ル間ハ……、ソレ程ニ考ヘテ居ル問題デアリマス是ハ……、即チ今子爵ノ御説明ノ如クニ、之ガ爲ニ一萬五千ノ新ニ課税サレル者ガ出來ルト云フコトニナルノデアリマスガ、元來是ハ政府ノ、大藏大臣其他政府委員ノ説明ニ依リマシテモ、政府ハ本税ノ趣旨ト課税技術ノ點ヨリ認ムルモ、二千圓ヲ控除スルコトヲ至當トスルト云フ風ニ説明サレテ居ルノデアリマス、是ハ菅原先生ノ御質問ノ中ニモ詳シク説イテ居ラレルヤウニ見受ケルノデアリマシテ、ドウモ是ハ幾ラ考ヘテ見テモ課税ノ技術カラ申シマシテモ、極端ニ言ヘバ一錢利益シタ者モ、五十錢、五十圓ノ者モ、百圓ノ者モ一緒ニ皆カカッテ來ルト云フコトニナルノデアリマシテ、技術上カラ言フテモ面白クナク、又先程申上ゲマシタ一種

ノ是ハ二重課税デアリマスカラシテ、ソレニ對シテ一厘デモ利益ガアレバ取ルト云フコトハ、ドウモ本税ノ性質カラ云フテ少シ行過ギルノヂヤナイカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、此點ニ付テハ私ハ幸ヒ菅原サンノ速記ヲ拜見シタノデアリマスルガ、其他ニ之ニ付テノ十分ナ御討議ガアッタコトト更ニ私ハ信ジマス、今ノ速記ノナイ委員會ニ於キマシテモ……其邊ノ經過ヲ一應拜承シテ置キタイト思フノデアリマス、

フ仰セデアリマシテ、成程私モ寡聞デアリマスガ無イサウデアリマス、併ナガラ各國ノ例ニ於テハ、何レモ是ハ現存シテ居ルコトデアリマシテ、即チ「イギリス」ニ於テハ個人、法人トモ二百「ポンド」ヲ控除シテ居リマス、「アメリカ」ニ於テハ法人ニ付テハ三千「ドル」、個人ニ付テハ六千「ドル」ト云フ控除ヲ設ケテ居リマス、「ドイツ」ニ於テハ個人ハ三萬「マルク」以下ニ限リ三千「マルク」ヲ……其三萬「マルク」ノ利得以下ニ限リ三千「マルク」ヲ控除ス、但シ法人ニハ利得ノ免稅點トシテ五千「マルク」ヲ認メテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、是ハ何レモマア言葉ガ、進歩セリト申シマストラカシイト思フ、是ハ「ヨーロッパ」ニ於テハ從前ヨリ認メテ居ル極ク穩當ナ、是ハ課税法ト私共ハ存ジテ居リマス、ノミナラズ此法人ハ今ノ四年ト云フ基準ヲ我ガ置イタノヲ御取リニナツテ居リマス、法人ニ對シテ……法人ニ對シテダケヂヤナイガ、御取リニナツテ居ル、二千圓ノ控除モセヌト、斯ウ仰セニナリマスト云フト、個人ニ對シテノミ七・五ノ減稅ヲ認メタ、原案ニ對シテ……ト云フコトニ對シテ、個人ト法人トノ取扱ニ付テ非常ニ私ハ權衡ヲ失スル傾キニナルノヂ

ヤナイカト斯様ニモ思ヒマス、此諸點ニ付キマシテドウ云フ御意見、御質疑ナリ御研究ガアリマシタカ、甚ダ諄イヤウデアリマスガ、是ハ私共トシテハ最モ研究ヲ要スルノデ、曩ニモ申ス如クニ社會問題トシテ極秘ノ中ニ研究ヲ遂ゲタ問題デアリマシテ、遂ニ送付シタモノデアリマスガ、其點ニ付テノ御趣意ヲ御尋イタシマス

○馬場鑣一君 岡田サンノ仰シヤルコトハ、

御議論ノ點ハ私ヨリ御答申上ゲマセヌデ、何故斯ウシタカト云フ理由ダケヲ申上ゲタイト思ヒマス、先程渡邊子爵モ申シマシタ如クニ、前提トシテ歳入ヲ減ラサナイト云フコトガ主眼デアアルノデアリマス、而シテ個人ノ稅率ヲ變更シタ點ニ付テハ成ルベク衆議院ノ御案ニ從ツテ行クヤウニ致シタイ、即チ衆議院ノ修正ヲ尊重イタシタイ、斯ウ云フ所カラ來マスト云フトソレニ依ツテ、個人ト法人トノ稅率ノ變更ニ依ツテ百三十五、六萬圓ノ歳入減少ヲ來ス、稅收入ノ減少ヲ來ス、之ヲ我慢シ得ル所カラ補ツテ行カウ、斯ウ云フ所へ著目イタシマスト、何處ニ手ヲ著ケルカ、先ヅ法人ニ付テ見マスト、超過所得稅ヲ拂ツテ居ル法人ガ昭和八年度ニ於テ、是モ御承知ト存ジマスガ二萬一千三百九十トヤラアルサウデアリマ

ノ是ハ二重課税デアリマスカラシテ、ソレニ對シテ一厘デモ利益ガアレバ取ルト云フコトハ、ドウモ本税ノ性質カラ云フテ少シ行過ギルノヂヤナイカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、此點ニ付テハ私ハ幸ヒ菅原サンノ速記ヲ拜見シタノデアリマスルガ、其他ニ之ニ付テノ十分ナ御討議ガアッタコトト更ニ私ハ信ジマス、今ノ速記ノナイ委員會ニ於キマシテモ……其邊ノ經過ヲ一應拜承シテ置キタイト思フノデアリマス、

デ先程ノ御話ノ、成程必シモ弱體ノ會社ニノミカカルモノデナイト云フ御話デアアルガ、矢張り是ハ總ジテ言ヒマスレバ、二千圓以下ノ收入ノアルト云フ者ハ、比較的ノ是ハ弱體ノモノデアラウト思フ、又ノミナラズ超過利得ヲ捉ヘテ、其上ニ二重ニ課税スルノデアリマスカラ、ソレ程之ヲ嚴重ニ取ルト云フコトハドウデアラウカ、矢張りソコニ一ツノ層ヲ設ケテ置イテ、其上ヲ取ルト云フ政府ノ觀念ト云フノガ穩當デアリ、正當デアリ、正義ノ觀念ニモ合フモノデアラウト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居リマス、デ此點ニ於テハ或點ニ於テ、今ノ菅原先生ノ説ニ我ミハ、同ジコトデアリアリマセヌケレドモ、動向ニ於テハ贊成スル者デアリマスガ、今日日本ニ於テハ左様ナル立法例ガ無イト云

フ仰セデアリマシテ、成程私モ寡聞デアリマスガ無イサウデアリマス、併ナガラ各國ノ例ニ於テハ、何レモ是ハ現存シテ居ルコトデアリマシテ、即チ「イギリス」ニ於テハ個人、法人トモ二百「ポンド」ヲ控除シテ居リマス、「アメリカ」ニ於テハ法人ニ付テハ三千「ドル」、個人ニ付テハ六千「ドル」ト云フ控除ヲ設ケテ居リマス、「ドイツ」ニ於テハ個人ハ三萬「マルク」以下ニ限リ三千「マルク」ヲ……其三萬「マルク」ノ利得以下ニ限リ三千「マルク」ヲ控除ス、但シ法人ニハ利得ノ免稅點トシテ五千「マルク」ヲ認メテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、是ハ何レモマア言葉ガ、進歩セリト申シマストラカシイト思フ、是ハ「ヨーロッパ」ニ於テハ從前ヨリ認メテ居ル極ク穩當ナ、是ハ課税法ト私共ハ存ジテ居リマス、ノミナラズ此法人ハ今ノ四年ト云フ基準ヲ我ガ置イタノヲ御取リニナツテ居リマス、法人ニ對シテ……法人ニ對シテダケヂヤナイガ、御取リニナツテ居ル、二千圓ノ控除モセヌト、斯ウ仰セニナリマスト云フト、個人ニ對シテノミ七・五ノ減稅ヲ認メタ、原案ニ對シテ……ト云フコトニ對シテ、個人ト法人トノ取扱ニ付テ非常ニ私ハ權衡ヲ失スル傾キニナルノヂ

ヤナイカト斯様ニモ思ヒマス、此諸點ニ付キマシテドウ云フ御意見、御質疑ナリ御研究ガアリマシタカ、甚ダ諄イヤウデアリマスガ、是ハ私共トシテハ最モ研究ヲ要スルノデ、曩ニモ申ス如クニ社會問題トシテ極秘ノ中ニ研究ヲ遂ゲタ問題デアリマシテ、遂ニ送付シタモノデアリマスガ、其點ニ付テノ御趣意ヲ御尋イタシマス

ス、大體原案ニ依ル課税法人ガ五千餘リ、サウスルト必シモ一致スルトハ申上ゲラレヌカモ知レマセヌガ、殖エルト云フ一萬五千ノ法人ト云フモノハ大多數ガ矢張り是ハ超過利得ヲ拂ツテ居ルモノデハナイカト思フ、サウ云フモノニ對シテ考ヘテ見マスト云フト、二千圓ヲ控除イタサヌデ取ルト云フコトモ、是ガ非常ナ負擔ニナルト云フコトナラ考ヘモノデアリマスケレドモ、通ジマシテ二萬一千バカリノ法人デ百五十萬圓バカリノモノヲ負擔スルノデアリマスカラ、年額僅ニ七十圓餘リ、ソレ位ナモノハ之ヲ負擔セシメタカラト言ッテ、別ニドウモエライ社會政策的見地ニ反スルト云フヤウナ嫌モナカラウ、而モ之ニ依ッテ歳入、

委員ヲ設置ノ動議ヲ提出イタス者デアリマ

明瞭ナ案デハナイカト云フ結論ナノデアリマス、後ハ御議論ト存ジマスカラ、別ニ御答申上ゲマセヌ

委員ヲ設置ノ動議ヲ提出イタス者デアリマ

○男爵黒田長和君 私ハ此際議事ノ方針ニ付キマシテ提議イタシタイト思ヒマス、此儘質問應答ヲ續ケラレマスレバ、自然開キ直ツタ討論ノヤウナ風ニナッテ行ク虞ガアルト存ジマス、ソレヨリモ此際小委員ヲ設定セラレマシテ、懇談的ニ御協議ヲ進メラレタ方ガ適當カト存ジマスノデ、此際私ハ小

○岡田忠彦君 私ノハ簡單デスガ、少シ如何デセウカネ、ヤカマシウ言ハズニヤリマスカラ、簡單ニ續ケテハドウカト思ヒマス、併シ強ヒテ申シマセヌ、如何様ニモ多數ノ御意見ニ從ヒマス

○男爵黒田長和君 其數ヲ雙方カラ三名ヅツト致シテ、議長ニ御指名ヲ願ヒタイト思ヒマス

○前田米藏君 今ハ此程度デ御散會ヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

○議長(侯爵中御門經恭君) 御異議ナイト認メマス、小委員ノ選定ヲ致シタイト存ジマスルガ……

院側カラ岡田忠彦君、金光庸夫君、太田正孝君、貴族院側ニ於キマシテハ桑山鐵男君、深尾隆太郎君、馬場鉄一君、之ニ兩院側ノ議長副議長ヲ加ヘマシテ小委員ト致シタイト存ジマス、直ニ小委員會ヲ開キマシテ御懇談ヲ願ヒマス、成案ヲ得マシテ又此委員會ヲ開キタイト存ジマス、只今此委員會ハ休憩ヲ致シマス

午前十一時六分休憩

午後四時三十七分開會

○議長(侯爵中御門經恭君) ソレデハ是ヨリ休憩前ニ引續キマシテ開會イタシマス

○前田米藏君 今日ハ此程度デ御散會ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(侯爵中御門經恭君) 前田君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(侯爵中御門經恭君) ソレデハ本日ハ是ニテ散會イタシマシテ、明日ハ午前十一時ヨリ開會イタシタイト存ジマス

午後四時三十八分散會

○議長(侯爵中御門經恭君) ソレデハ本日ハ是ニテ散會イタシマシテ、明日ハ午前十一時ヨリ開會イタシタイト存ジマス

午後四時三十八分散會

○議長(侯爵中御門經恭君) ソレデハ本日ハ是ニテ散會イタシマシテ、明日ハ午前十一時ヨリ開會イタシタイト存ジマス

午後四時三十八分散會